

稲・大豆作情報 (NO. 1)

1. 水稲作況情報田の生育概況(7月2日現在)

品 種 場 所	移植日 栽植株数	年 次	苗 質			現在の生育状況		
			苗 丈 cm	第1葉鞘高 (cm)	葉 齢 (L)	草 丈 cm	茎 数 本/m ²	主稈 出葉数
夢しずく 佐賀市本庄町	6/16 17.6株/m ²	本 年	12.9	4.7	2.2	26.0	101	5.4
		平 年	16.2	5.8	2.5	30.5	91	5.7
		平年比	(80)低	(81)低	(-0.3)	(85)	(111)	(-0.3)
さがびより 小城市芦刈町	6/20 17.7株/m ²	本 年	11.7	3.7	3.8	29.7	85	4.6
		平 年	12.2	3.0	3.9	27.8	80	6.0
		平年比	(96)低	(124)高	(-0.1)	(107)	(106)	(-1.4)
ヒヨクモチ 小城市牛津町	6/28 20.1株/m ²	本 年	12.2	3.2	3.5	14.6	79	3.9
		平 年	14.2	3.7	3.6	18.4	72	4.5
		平年比	(86)低	(86)低	(-0.1)	(80)	(110)	(-0.6)
概況	移植以降、水を溜めっ放しにしている圃場では広範囲の表層剥離が確認されている。ガス害により、活着せず黄化している圃場が見受けられる。							

注1) 各品種 前作：麦、前前作：水稲

注2) 施肥及び病害虫防除は地区基準に準ずる

2. 水稲管理

○今週の管理 ～ 適正な水管理 ～

・初期分けつの確保・ガス抜き・スクミリンゴガイ食害回避のため、落水・浅水管理の徹底

- ① 今年産の麦は生育が旺盛で、すき込まれた麦ワラも平年より多くなっている。さらに入水後の6月中旬以降は好天で、平年よりやや高温で推移しているため、ガス湧きが例年より早く、程度も大きくなっている。

<対処>

生育初期のガス抜きの可否は生育全体に影響を及ぼすため、ガス湧きや表層剥離が確認された圃場は、速やかにガス抜きのための落水が必要である。麦ワラの量が多いため、ガス湧きが長期化することも考えられるため、こまめに確認し、落水→入水を繰り返し、適正なガス抜きを心がける。

- ② 本年は暖冬であったため、スクミリンゴガイの越冬数が多い。例年より多く確認された場合は浅水とし、状況に応じてスクミノンなどの薬剤散布を行う。
- ③ 余り苗はいもち病やウンカの温床になるため、補植作業が終わったら、直ちに除去する。

3. 大豆管理 ～7月に入りました。播種前後の天候を見計らって、大豆の播種を行いましょう～

○耕起 ～ 耕起は水分の低い時に、大雨予報の時は無理しない！～

- ・荒起は播種前日～当日に行う。(一旦耕起すると、降雨が続く場合は土壤水分が低下しにくく、晴天が続く場合には乾燥しやすい弊害があるため)
- ・天候が変わりやすい場合には、無理に荒起しはせず、1工程で浅く耕起して播種する。
- ・耕うんと播種を2台のトラクターで並行して組作業を行えば、晴れ間の作業が可能となるとともに土壤水分を確保しつつ播種が可能になる。

○播種

•**種子消毒**：紫斑病や腐敗防止および発芽率の向上のため、必ず実施する。

•**播種量**：

播種日	栽植本数 ㎡あたり	栽植様式 条間×株間×1株本数	播種量 (kg/10a)
7月1日～5日	10本	75 × 25 × 2	3.0
7月6日～20日	14本	75 × 20 × 2	4.0

•**播種深度**

播種後2～3日以内に降雨が予想される場合→2cm程度の浅め鎮圧はしない

播種後1週間以上好天が予想される時や、土壤が乾燥気味の場合→4cm程度の深めかつ鎮圧する

•**除草剤** 播種直後に土壤処理剤を散布し、雑草防除を行う。特に近年問題となっているホオズキの発生が多い圃場においては、「ラクサー乳剤」が効果的である。

1年産水稻生育期間気象グラフ（アメダス：佐賀）

佐城農業改良普及センター

